

# 芸

術の秋。佐賀出身・在住で、音楽、絵画、演劇で活躍する若手表現者を特集した。ジャズピアニストの辻利恵さんはアメリカ在住。世界的歌姫・ビヨンの信頼厚い専属キーボーディストとして世界を飛び回っている。日本画家の八谷真弓さんは20代前半で院展院友となった俊英。故郷の人と触れ合いながら、自分らしい画境

を探している。県勢45年ぶりとなる全国大会に出場した佐賀東高演劇部。脚本を務める顧問の彌富成さんにこれまでの道のりや演じることの意味を尋ねた。11月に開催される「第3回佐賀市民芸術祭」からは注目のプログラムを紹介。少しづつ過ぎしやすくなる季節、街に出かけて、自分にぴったりの芸術を探すのはどうだろう。



**ア**メリカを舞台に活躍する佐賀出身のジャズピアニスト・辻利恵さん。世界的な歌姫であるビヨンの専属ピアニストとして有名だ。11月13日には佐賀市文化会館で佐賀モダンジャズオーケストラと競演、24日には浪漫座でソロコンサートが開催される。辻さんにこれまでの道のりと佐賀への思いを聞いた。

## 10万人規模の会場も

現在アメリカ在住で、世界的歌手であるビヨンの専属ピアニストとして活躍されています。

先日はビヨンの旦那さん・ラッパのジェイ・Zが主催する音楽フェス「メイド・イン・アメリカ」に出演しました。彼の出身地フィラデルフィアで開催されたんですが、映画「ロッキー」の中で主人公がテーマ音楽とともに駆け上がるシーンの舞台となっていることで有名な、美術館への階段の前面道路を封鎖して会場にした7万人規模の野外イベントです。現在はニューヨークのセントラルパークで開催されるコールドプレイが主催する世界の貧困撲滅を目的とした「グローバル・シチズン・フェスティバル」のリハーサルで忙しいです。



ジャズピアニスト 辻利恵さん



# 佐賀での演奏楽しみ

「アラスカトンベリ・フェスティバル」でしょうか。10万人以上だったと思います。ビヨンの最初の仕事は2006年、日本での彼女の武道館バスツアーライブでした。それからスタジアム級の世界ツアーに3回参加しました。最初の頃は興奮していましたが、今ではもう慣れました。逆にラスベガスの小さなパブでコンサートしたこともあります。

世界を舞台にした活動。ツアースタッフの日本への印象はどうですか？

これまで北米、南米、ヨーロッパ、アジア、オーストラリアと世界中を巡りました。以前のツアーのポスターには「40カ国」公演と書いてありました。今日はスイスで明日はベルギー。毎日、国境を超えることもあります。バスポートも随分分厚くなりました。ビヨンもスタッフも、日本のホスピタリティ精神は世界トップクラス、と褒めてくれます。ホテルでもお店でも邪険に扱わず笑顔で丁寧に対応してくれたり、英語が苦手な人でも一生懸命に理解しようとする。そういうところに好感を持ってもらえるようです。ビヨンはお鮎と枝豆が好き。楽屋に枝豆が置いてありますよ。ファッションもかわいい、と評価が高いですね。スタッフ内では、買い物するなら日本、が常識になっています。

## 小学生で決意

辻さんが音楽の道に進んだきっかけは？

3・4歳のとき、母がヤマハのピアノとエレクトーンの先生をしていたので、2歳上の姉が習っていたので自然に習い始めました。小さいときは、みんなが遊んでいる時に練習するのが嫌で、辞めたい、といった時もあったし、練習しなかったこともあります。でも小学生になると、ピアノはずつとやっていたという自覚が芽生えました。水泳や習字も習っていたんですが、それとは別格のものと感じていました。



ヤマハの教室では耳を鍛えることを重視したので、小さいときからCMやドラマの曲など聴くとピアノで弾きました。学校のオルガンで弾くとみんな喜んでくれる。それが楽しかったことを覚えています。

その後、佐賀北高芸術コースの音楽専攻から東京音楽大学に。ずっとクラシックを勉強していました。ジャズとの出会いはいつですか？

高校時代、学校帰りに寄っていた古着屋さんでアメリカの40・50年代の曲が流れていて、その影響でジャズを聴くようになりまして。お店の関係者の人たちとバンドを組んだりも

しました。ライブにも出演しました。ここで古い音楽に出会ったことは、その後の人生に大きな影響を与えてくれました。

アメリカ留学はどのような経緯ですか？

中学時代、アメリカに行く教育プログラムがありました。各校から1人という決まりなんです。まず校内から男女計2人が作文で選ばれます。それは突破したんですが、最終審査で落ちてしまいました。本当に悔しくて...。選ばれた男子生徒がお土産を持ってきてくれたんですが、それがまた悔しくて。それ以来、アメリカへ留学するという夢を抱きましました。高校卒業した時点ですぐアメリカ留学す

るつもりだったのですが、両親と相談し、とりあえず日本の音大に行くことになりました。大学卒業してもアメリカへ行きたかったらサポートするから、と言ってもらって。

## 失敗にもめげず

東京の4年間を終え、念願のアメリカ留学が決定。キース・ジャレットやクインシー・ジョーンズ、大西順子も通った名門・パーカー音楽大学へ進学します。

最近、久しぶりに会ったバークリー時代の友人と話して思い出したんですが、入学してすぐ、私が地元トップクラスのジャズクラブ「ウォーリーズ・カフェ」で飛び入り演奏したそうなんです。ジャズ演奏には決まった「フォーム」があるんですが、即興演奏ではそれを崩したり、テンポを変えたりします。いきなり演奏に参加したのはいいものの、「フォーム」が分からなくなっちゃって手が止まって...。周りのミュージシャンはいろんなヒントやサインを送ってくれていたそうなんです。頭が真っ白になってしまっ...

いきなりキツイ経験ですね

友人も「自分だったら二度とその店にはいけない」と言っていました。でもすぐに再挑戦して、その後も何度も演奏させてもらいました。怖いもの知らずというか、その世界を知らないうちから出来たんだと思います。がむしろ楽しんだんです。

世界中で活動を重ねた辻さんの音楽を11月、佐賀で楽しむことができます。まず11月13日に佐賀市文化会館である「第3回市民芸術祭 JAZZステージ」について教えてください。

佐賀市文化会館には、たくさんさんのショーを見にいきました。自分を育ててくれた場所

す。学生時代に感銘を受けたジャズピアニストの竹中真さんのライブも佐賀市文化会館のイベントホールだったと思います。ビートルズの「イエスタデイ」を演奏していたんですが、全然カラーが違ってすごいなあと感心しました。高校時代にはブラスバンドとして合唱部と一緒にパフォーマンスしたこともあります。そんな思い出の場所で自分の名前がメインになった初めてのプログラムを開催できることは本当に嬉しいことです。

ビヨンのサポートの時とは全く違い、決まったものを弾くのではなく、自分が主体になって演奏しなければいけません。一つのフォームを、そして新たな世界を作っていく。その日しかできない演奏を目指しています。今回一緒に演奏するのはアメリカからのメンバーです。地元の佐賀モダンジャズオーケストラとの競演も楽しみです。さらに10日後には浪漫座でソロライブがあります。文化会館のものとは内容もがらりと変える予定です。ライブの間は1週間くらい佐賀を楽しみたいと思っています。

## 音楽で心を充たして

最後に佐賀のみなさんにメッセージを

佐賀に帰ると慣れ親しんだ場所ということもあり、非常に落ち着きます。豆腐料理や温泉も楽しみですが、なにより家族と一緒に時間を過ごせることが最大の喜びです。佐賀は素敵なところなので、いろんな県から来てほしいです。どんどん盛り上がり、いろんな人を呼び込めたら嬉しいです。

日常の生活でいっぱいになったとき、ちょっとした時間、山や海に触れると心が洗われます。ちょっとした意識改革が必要なきは誰にでもあります。音楽が無くて生きていけますが、その時間をとることで自分がインスパイアされる。心のエネルギーを充填してほしいですね!!



**佐**賀を拠点に活躍する日本画家・八谷真弓さん。佐賀大学時代に日本画の全国公募展である院展に初入選。その後、23歳で院友になるなど、若手実力派として知られている。佐賀を制作の場を選んだ理由と、その良さについて聞いた。

## 東京の同世代刺激に

佐賀北高芸術コースを経て、佐賀大学教育学部美術・工芸課程 日本画専攻を卒業。大学院で東京藝大に進学されました。東京での暮らしはどのようなものでしたか。

「東京には若い時に一度行った方がいい」という風潮もあり進学しました。佐大時代の恩師が東京藝大出身だったこともあり記念受験のつもりだったんですが、合格することができました。大学院には



日本画家  
八谷真弓さん

**展覧会情報**  
「八谷真弓展」  
11月24(火)～12月6日(日)  
11:00～18:00(日曜17:00まで)  
会場/画廊憩ひ

作品上から  
「行く手」(部分)  
220cm×175cm/和紙、岩絵の具  
2015年院展入選

**佐賀新聞文化センター 講座情報**  
基礎デッサン  
日時/第1・3金曜 19:00～21:00  
受講料/2,592円(別途プリント料324円)  
教材費/648円 維持費/432円

「間隙」(部分)  
100cm×100cm/和紙、岩絵の具  
2015年春の院展入選

「下合瀬の大カツラ」(部分)  
44cm×36cm/水彩紙、墨/2015年  
「朝焼け」  
29cm×40cm/水彩紙、墨/2014年

## 絵をもっと身近に

佐賀に帰ってきて8年、画風の変化は？

景色を描くことが増えました。自然に触れる機会が多いのでスケッチをするようになってきました。普段見逃しそうな何気ない風景に目が行くことが多いですね。クリーク端の老木に生い茂った夏草の葉の光と影の部分をじっとながめたり。木の枝をじっくり見ていると、いろんな曲線が合理的に組み合わせられているの分かります。人の腕も同じような仕組みでできているな、と気づかれます。綺麗な風景を描きたいのではなく、心情を表現するヒントを探しています。それが大作に取り組みときの基礎体力になっている実感があります。

今後、取り組みたいことを教えてください。

今まで描かなかった花などのモチーフにも挑戦していきたいと思っています。佐賀では「絵」というと身構える人が多い印象を受けます。描く人にとっても描くことに一生懸命で見る人が少ないというの寂しいことです。個展にいらっしやるのがあれば気軽に話かけてほしいですね。素敵な音楽を聞くように、自分の家に絵を飾ったり、友人にプレゼントしたり、より身近な存在に感じてもらうためにはいいかなと思います。

# 人との関わり制作の糧に

佐賀に帰ってきて立てた目標は「まずは10年続けること」。年に最低1回は個展を開き、院展に作品を出し続ける。いまのところ継続できています。家族のいるところで安心して創作するのが自分には合っているようです。

## 画家以外の仕事も

佐賀での制作はどのように取り組まれていますか。

個展前は集中して制作しますが、それ以外は可能な限り毎日、絵筆を持つようにしています。絵具を乾かす間に家の手伝いをちょこちょこしたり。住居の欧米化が進んでいるので、昔ながらの床の間やふすまがある和風住宅は少なくなっているようです。日本画家の仕事はあまり多くないので、佐賀新聞文化センターや幼稚園で絵画教室をしたり、普通の職場で働いたりしています。

も対応してくれて、非常に恵まれた環境。テーマが人物画だったので、非常に力になりました。休日は美術館や画廊を巡りました。東京は数が多いので、一日に何か所も行ったりと、先輩や同級生のグループ展や個展にも顔を出したり。現在、美術界で活躍する人もいて、このとき培った人の輪も大きな財産です。

藝大大学院卒業後、佐賀に戻ったのはなぜですか。

東京はあまり長く住む場所ではないな、と感じていたの、残ることは選択肢にありませんでした。卒業すると寮を出なくてはいけません。制作が出来る環境を東京周辺で整えようと思うとどうしても金銭面での負担が大きいという理由のひとつです。大学院の先生にも「息切れするほど頑張るよりも、ゆっくりやる方が性に合っているのでは」とアドバイスされたことも大きかったです。



全国大会本番を前にリラックスした表情の佐賀東高演劇部=2015、彦根市文化プラザ(滋賀県)



全国大会会場での「ママ」リハーサル=2015、彦根市文化プラザ(滋賀県)



「カセガワ高校生徒会長選挙」稽古の様子=2015、佐賀東高



「ママ」の初演=2014、相知交流文化センター



「ルナ」とわたしたち、さいごの虹と。=2014、鳥栖市民文化会館

**上演予定**

- 10月6日 県高校文化祭開会式  
会場/佐賀市文化会館大ホール
- 10月31日、11月1日  
県高校演劇コンクール  
会場/相知交流文化センター

佐賀東高演劇部顧問

彌富公成さん



「演劇と関わるきっかけは？」  
高校の文化祭でクラスの出し物が演劇に決まって、いろんなアイデアを出しているうちに脚本を担当することになりました。王様が偽物と入れ替わって…みたいな物語だったと思います。それが面白かったので卒業したら演劇をしたいと考えるようになりました。

ところが大学ではひょんなことから人形劇部に入ることになりました。演劇部の部屋を探していたら、親戚な先輩が案内してくれて「ここだ」というからずつと通っていたんですが、発声練習もしない。3カ月くらいして、先輩に連れていかれた倉庫には人形がズラリ。要するに騙された訳です。すぐに演劇部に移ろうと思いましたが、お世話になった先輩を裏切るわけにもいかず、結局、そのまま卒業まで続けました。離島の小学校や老人ホームで上演することもありました。最後は脚本も担当させてもらいました。人形

### 騙されて人形劇部

佐賀県勢として45年ぶりとなる全国大会に出場した佐賀東高演劇部。全国からわずか12校しか選ばれない特別な舞台。同演劇部の演目「ママ」は残念ながら入賞できなかったものの、観客からは他のどの学校よりも大きく長い拍手が贈られていた。脚本を担当するのは顧問の彌富公成さん。昨年度の佐賀県教育長表彰を受けるなど高い評価を受けている。彌富さんに演劇を始めるきっかけや、全国大会までの道のりなどを聞いた。

# 「繋いで」県勢45年ぶり全国

は笑ったり、怒ったりといった表情で気持ちを伝えることができず。どういふセリフで感情を伝えるか、と苦心したことは今の活動に非常に役に立っています。

——卒業後は佐賀県で高校国語科の先生に。  
初任地の唐津西高校では卓球部の副顧問を担当しました。その年に県大会優勝。このまま卓球の道に行くのかな、とぼんやり思っていたら、翌年、競技経験のある先生が赴任してこれ、違う部活に行くことになりました。軽トラが運転できるので道具運搬役として、演劇部の正顧問の先生から誘われ、副顧問になりました。同校の演劇部では先生も生徒も全員がそれぞれ台本を作り、その中から1本を選んで上演するという方法をとっていました。人形劇の台本を書いたり自分で書いてみようかな、くらいの気持ちで作った脚本を生徒が一番面白いといってくれて。顧問の先生と何度もやりとりして完成した作品で県2位を取ることができました。みんな嬉し泣きする中、部員の一人が「この作品ならもっと上に行けたのに」と涙ぐむ様子を見て、自分の中にも悔しさが込み上げてきました。人生で初めて本当の意味での悔しい経験だったと思います。いつか絶対に生徒を全国に連れて行きたい、と決意しました。

——昨年の九州大会で2位となり、県勢としては45年ぶりに全国大会出場を勝ち取りました。  
前任校で7年、佐賀東高で8年の15年かかりました。実は九州大会はあまり手応えはなかったんです。60分以内で終了しなければ失格というルールがあり、あせったのか通常59分の作品が54分で終わってしまいました。舞台経験はどこよりも多いはずなのに、本番の舞台は別物でした。しかし、お客さんの反応は良く、審査員の評価も得られて全国に行くことができました。ただ、生徒の中には「2位だったのが悔しい」という気持ちがあったようです。

全国大会に行くことができたのは、今の生徒だけではなく卒業生たちが種をまき、ずっと繋いでくれたものが花開いたのだと思います。大人がこれくらいかな、と思っただけでも生徒は歯止めなくやりきります。生徒が「あきらめちゃいけない」ということを見せてくれました。

### 2日間で一気に

——そして今年、全国大会へ。出場を終えた感想を聞かせてください。  
全国大会ではお客さんの反応が良くて嬉しかったんです。劇団関係の方からは「一番拍手が長くて、一番泣いた作品だった」という声を頂きました。上演した「ママ」という作品は、延命治療をテーマにしていますが、ハツラツと生きていく姿も同時に描いています。「重い空気になりそうなのに、元気が出た」という意見もありました。

——台本はどのようにして書きあげるのでしたか？  
初稿は土日などを使ってほしい2日間で仕上げます。2リットルの甘いコーヒーストを飲み込んで、トイレや気分転換に風呂に入る以外は自室から一歩も出ずに執筆します。途中で眠ると登場人物の性格が変わったりするので一気にいきます。その後、生徒たちと一緒に細かいセリフなどを組み立てながら完成させます。

「ママ」のラストは、書いていない状態で生徒たちに見せ、話し合っただけで決まりました。生徒たちの体験や感じたことも反映させながら作りあげていきます。

自分は根本的に作品をコントロールしていきたくて思っているのですが、生徒たちがもつと大きなものを作ってくれているので、そちらに舵を切らざるを得なくなる。それがまた楽しいですね。

——一般の団体から頼まれて作品を作ることも多い。  
これまでに振り込め詐欺防止や肝炎・肝ガン予防、三重津海軍所につつまる舞台など、依頼されて作品を作りました。今年には佐賀東高創立50周年ということで、同窓会からの依頼を受け、11月に劇を上演しています。商業施設でも、学校から照明機材を持って行って舞台を作ります。

講演会の講師の代わりに呼ばれることもあり、演劇があるとは知らずに来る人、あまり演劇鑑賞経験のない人がくる可能性が高いです。佐賀東の劇を見て面白くないですね。

思ったら、次に別のお芝居を観に行こうという気持ちにはならないでしょう。大きな責任を感じています。

今後もお客さんに支持される舞台を目指していきたいです。賞をとった学校だからではなく、佐賀東高の演劇は面白いよ、と口コミで評判が広がるような演劇でありたい。分ける人には分かる、という感じはしたくありません。観た人がずつと思いついてくれるような作品を作っていきたいですね。

### 子どもは表現したい

——音楽や美術に比べ、演劇はとっつきにくいという印象があります。特に佐賀はその傾向が強いと思うのですが。  
佐賀は葉隠精神からか、「ちゃーがつか」という方言があるように、表に出るのを恥ずかしがる人が多い印象があります。目立つことより実質的貢献。明治維新後の日本を技術力でリードしてきた佐賀藩ですが、効率よく無駄を省く一方で、想像力を活かしていくような文化的土壌がそこまで育たなかったのかも知れません。形のないものを信じてこなかったという面もあるのではないのでしょうか。

演劇は何もない空間から人間の声と体で作ります。無から思いっきり自分を表現することが必要とされます。一般に佐賀人気質とされているものとは合わないという印象を持たれるかも知れません。でも、今の子どもたちは表現したがりです。我々大人たちが「恥ずかしいに決まっている」と決め付けているだけで、本人たちは興味津々です。これからの佐賀を作っていくのは子どもたちです。何も無いところから作りだせる可能性を信じてほしいと願っています。

## 市民芸術祭ピックアップ

2015年11月

# 13金

### オープニングセレモニー & JAZZ ステージ

入場無料 / 要入場整理券

辻利恵 & 佐賀モダンジャズオーケストラ  
大和太鼓保存会 ほか

# 14土

### 斎藤雅広と仲間たち

有料公演 / チケット好評発売中

・子どものための楽しいクラシックコンサート  
・華麗なる名曲と楽しいトークで綴るスペシャル  
コンサート / ゲスト：吉原圭子



ピアノ 斎藤雅広  
ピアノ 加羽沢美濃  
クラリネット 赤坂達三  
ソプラノ 吉原圭子

### 佐賀の響き 大集合！

吹奏楽・管弦楽・室内楽

入場無料 / 要入場整理券

佐賀市中学校合同バンド(ゲスト：赤坂達三)、佐賀商業高等学校吹奏楽部、佐賀交響楽団、佐賀市民吹奏楽団、佐賀県打楽器協会、オーケストラ・シュガーロード、一之瀬麻友美(オルガン)、樋口あみ(ピアノ)、フェアドンスコット節子(ピアノ)

# 15日

### 佐賀の響き 大集合！

入場無料 / 要入場整理券

コーロ・アンジェリカ(女声合唱)、入江聡子(ピアノ)  
爪生千佳(ピアノ)、Grace Notes(ピアノ、フルート、  
クラリネット)、佐賀県民オペラ協会  
BRILLIANT COLORS(サクソフォンアンサンブル)

有料公演 /  
チケット好評発売中

### 新感覚の邦楽コンサート

柴田旺山(尺八)、高橋浩寿(津軽三味線)  
北原香菜子(薩摩琵琶)、SAGA邦楽合奏団 ほか

※入場整理券は9月末頃配布予定【文化会館、市民会館、市役所(本庁1階総合案内、各支所、大財別館2階文化振興課)、市立公民館、浪漫座(歴史民俗館旧古賀銀行内) ほか】

※催物の内容は変更の場合がございます。詳しくは、10月中旬配布予定のプログラムをご覧ください。(市内全戸配布予定)

お問い合わせ / 佐賀市民芸術祭実行委員会事務局  
(佐賀市文化会館内) ☎ 0952-32-3000

# オーケストラとポップス豪華共演

## 九州交響楽団 名曲コンサート スペシャルゲスト 平原綾香



平原綾香



指揮：飯森範親



《プログラム》

- ♪ワーグナー：ニュルンベルクのマイスタージンガー前奏曲
  - ♪ハチャトゥリアン：仮面舞踏会より「ワルツ」
  - ♪ポロディン：中央アジアの草原にて
  - ♪シベリウス：フィンランディア
  - ♪チャイコフスキー：くるみ割り人形より「花のワルツ」
  - ♪グリーグ：ペールギュントより「朝」、「山の魔王の宮殿にて」
  - ♪パッヘルベル：カノン
  - ♪バッハ：G線上のアリア
  - ♪ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ
  - ♪マスカーニ：カヴァレリア・ルスティカーナより「間奏曲」
- 平原綾香 ——
- ♪ Jupiter
  - ♪ おひさま～大切なあなたへ
  - ♪ 明日 他

全席指定 S席(1階席) 6,500円  
A席(2階席) 5,500円  
\*高校生以下は各席より2,000円割引  
\*未就学児童のご入場はお断り  
させていただきます。  
(無料託児所設置 / 公演日の1週間前までに要申込 / 先着順)

《プレイガイド》佐賀市文化会館、佐賀玉屋、モラージュ佐賀、  
アートミュージック、小川楽器佐賀店  
ローソンチケット各スポットおよびローソン各店  
(Lコード：87512)  
チケットぴあ各スポットおよびセブンイレブン各店  
(Pコード：270-952)  
セブンチケット <http://7ticket.jp>

平成27年11月15日(日)  
開場 15:45  
開演 16:30  
佐賀市文化会館大ホール

の「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲、浅田真央さんがショートプログラムに使用したことで一躍有名になったハチャトゥリアンの「仮面舞踏会」より「ワルツ」、大國の庄政から独立を果たしたフィンランドの第2の国歌とも呼ばれているシベリウスの「フィンランディア」、シルクロードの大平原をゆったりとした旋律で表現したポロディンの「中央アジアの草原にて」など、聴いたことがないとは言わせない有名曲のオンパレードだ。

日本人が最も好きなクラシックとして知られるパッヘルベル作曲の「カノン」はポップスやロックのアーティストが様々なアレンジをして広く親しまれている。音楽の父・バッハ作曲の「G線上のアリア」は癒しに満ちた名曲。朝のすがすがしい空気を透明感あふれるメロディーで綴ったグリーグの「ペールギュント」組曲より「朝」などクラシックを初めて聴く方にも楽しめる内容となっている。芸術の秋、佐賀の今後の文化・芸術の発展を、楽しみながら応援しよう。

となったことでも有名。今回は彼女の代名詞となった「Jupiter」で会場を酔わせるほか、フル・オーケストラをバックに豊かで深みのある歌唱を聴かせる。九響と平原さんの競演は佐賀だけの特別企画だ。指揮は大ヒットドラマ「のだめカンタービレ」で指揮演技指導をしたことでも有名な飯森範親さん。飯森さんは「平原綾香さんとは2年前、今回と同じ九州交響楽団で共演する機会を持つことができました。その時は平原さんと意気投合し、大いに盛り上がった公演となりました。その深い感動を今度は佐賀の皆さんと共有できることを大変うれしく思います」と意気込みを語る。

プログラムはひたすらオーケストラの「名曲」にこだわる。学校の音楽室や下校の時間に、映画やCMで、人生の1ページの中で必ず聞いたことのあるいわば「クラシック・グレイティスト・ヒット」とも呼べるプログラムだ。ワーグナー

# 九響 & 平原綾香 11/15に

「アートではぐくむひと・まち・こころ」をテーマに11月13日から3日間開催される「第3回佐賀市民芸術祭」。音楽、舞踊、美術と様々なフィールドから多くのアーティストや団体が参加し、華やかな舞台を創りあげる。そのフアイナルコンサートとして11月15日に佐賀市文化会館大ホールで催されるのが「九州交響楽団名曲コンサート」。今回はスペシャルゲストとして歌手の平原綾香さんが登場。国際的にも評価の高いマエストロ・飯森範親さんの指揮のもと、オーケストラとポップスの贅沢な競演を楽しむことができる。

## 第3回 佐賀市民芸術祭

# SAGA 芸術祭

～アートではぐくむひと・まち・こころ～

### 一流の演奏気軽に

「佐賀市民芸術祭は2013年からスタート。佐賀在住・出身アーティストを中心に、クラシック、邦楽、ジャズからダンス、美術工芸ワークショップまで、大人から子どもまで芸術文化に気軽に触れてもらおうと企画された。実行委員長の角田章裕さんは「目的は佐賀の文化芸術を発展させることです。幕末・明治期に維新をリードした佐賀は音楽家の豊増昇や画家の岡田三郎助など日本の芸術界を引っ張る人材を輩出してきました。その魂を持った芸術家に発表の場を提供することで、世界にはばたくアーティストになってほしいと考えています」と語る。

第3回となる今回のオープニングイベントは

佐賀市出身で世界の歌姫・ビヨンセの専属ピアノストとして有名な辻利恵さんと佐賀モダンジャズオーケストラが務める。角田さんは「世界で活躍するアーティストが故郷・佐賀に帰って演奏する。それを聞いた子どもたちは、自分もあんなりたいな、ときっと思ってくれるでしょう。一般の人たちも、同郷人の一流の演奏に、文化・芸術への興味が開かれると思います」と期待する。

### 名曲にこだわる

同音楽祭の中で特に注目なのが九州交響楽団と平原綾香さんが共演する「名曲コンサート」だ。特別ゲストの平原綾香さんは、イギリスの作曲家ホルストの組曲「惑星」から「木星」のメロディーを使用した「Jupiter」が100万枚の大ヒット